

尿酸キット

エクティア® XL '栄研' UAII

はじめに

尿酸はプリン代謝の終末産物で、その過剰生産による痛風等で血中の量が増加するほか、慢性腎不全、各種アシドーシス、薬剤の影響等の腎臓からの排泄異常のときにも増加します。また高血圧症、肥満等でも増加することがあります^{1,2)}。

エクティアXL '栄研' UAIIは、ウリカーゼ-POD法に基づいて開発された血清、血漿又は尿中の尿酸を測定する試薬です。



特徴

- 本法はウリカーゼ-POD法です。
- 血漿測定が可能です。
- 使いやすい液状試薬です。
- 共存物質の影響がほとんどありません。

包装単位・貯蔵方法・有効期間

製品名	R1/R2	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間	適応機種例
エクティア® XL '栄研' UAII	試薬-1	60mL×4	G-QU01	2～8℃	1年間	日立7180
	試薬-2	30mL×4	G-QU02			
	試薬-1	80mL×4	G-QU03			日立7070
	試薬-2	40mL×4	G-QU04			
	試薬-1	400mL×2	G-QU05			日立7250
	試薬-2	200mL×2	G-QU06			

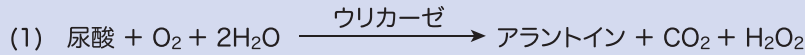
(別売標準)

製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間
UAキャリブプレートXL '栄研'	10mL×1	G-QU90	2～8℃ (密栓厳守)	1年間

測定原理

検体中の尿酸は、ウリカーゼの作用によりアラントイン、二酸化炭素および過酸化水素に分解されます。この過酸化水素は、ペルオキシダーゼ(POD)の存在下で、4-アミノアンチピリン(4-AA)とHDAOSとを酸化的に縮合させ、青色のキノン色素を生成します。

この色素を比色して尿酸濃度を求めます。



使用目的

血清、血漿又は尿中の尿酸の測定

測定範囲

0.1 ~ 200 mg/dLまで直線性を確認してあります。

基礎データ(血清)³⁾

測定機器: 日立7180形自動分析装置

■ 同時再現性

単位: mg/dL

	試料1	試料2	試料3
N	20	20	20
Mean	4.99	5.10	9.64
S.D.	0.05	0.03	0.04
C.V.(%)	1.0%	0.6%	0.4%
Max.	5.1	5.2	9.7
Min.	4.9	5.0	9.6
Range	0.2	0.1	0.1

■ 妨害物質

下記濃度まで測定値への影響は認められませんでした。

アスコルビン酸 20 mg/dL

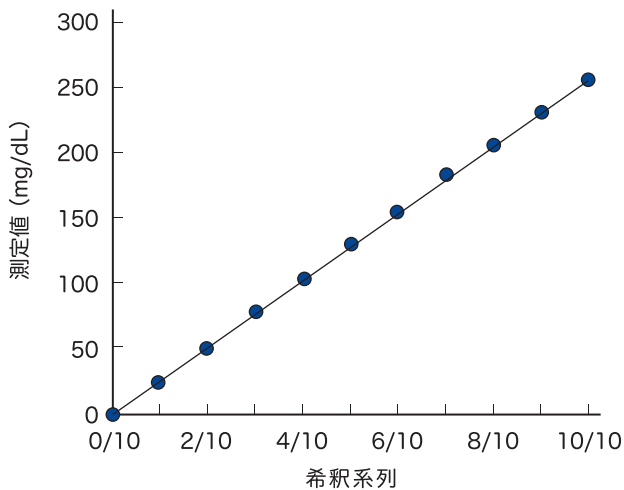
遊離型ビリルビン 20 mg/dL

抱合型ビリルビン 20 mg/dL

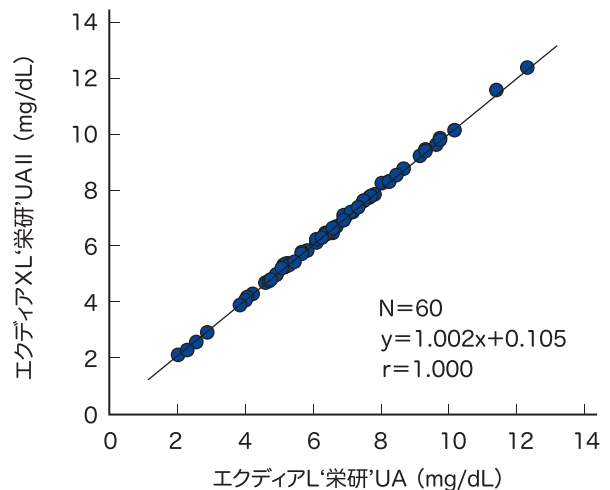
ヘモグロビン 500 mg/dL

乳び 3000ホルマジン濁度

■ 希釈直線性



■ 相関性



主要文献

- 1) 金井 正光, 他: 臨床検査法提要, 改訂第32版, 金原出版, 東京, 503-507, 2005.
- 2) 北村 元仕, 他: 実践臨床化学, 増補版, 医歯薬出版, 東京, 258-276, 1982.
- 3) 社内データ

本試薬の使用上または取扱い上の注意については、製品添付文書をご参照ください。